

## さいたま市感染症発生動向調査(週報)

2022年第24週(6月13日~6月19日)

### ■全数把握対象疾患(結核、新型コロナウイルス感染症を除く。)

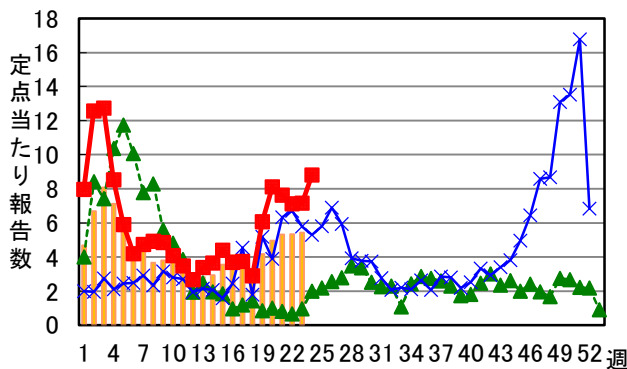
第24週 受理分	
五類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症 1件 梅毒 2件(病型:早期顕症梅毒 I期 2件)

### ■定点把握対象疾患【報告数が上位の疾患】

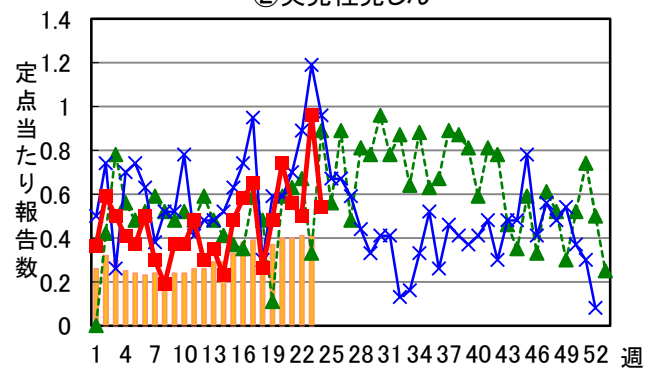
※その他の定点把握対象疾患は、「感染症発生動向調査 週情報(患者報告数、定点当たり報告数、年齢階級)」をご覧ください。

順位	疾患名	定点当たり患者報告数		2週間前からの傾向	過去5年間の同時期との比較
		今週	前週		
①	感染性胃腸炎	8.81	7.15	増加	例年並み
②	突発性発しん	0.54	0.96	横ばい	少ない
③	咽頭結膜熱	0.27	0.19	横ばい	例年並み
④	RSウイルス感染症	0.23	0.08	増加	例年並み
④	水痘	0.23	0.08	増加	例年並み

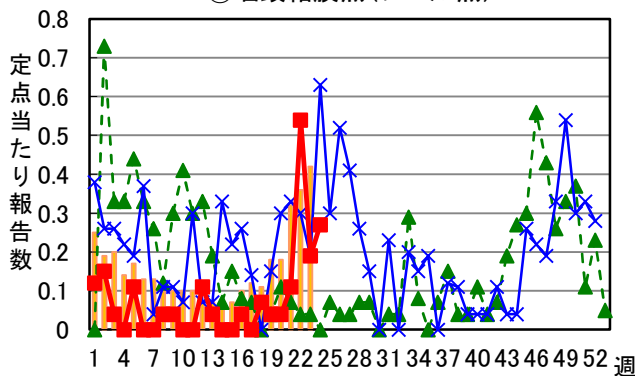
①感染性胃腸炎



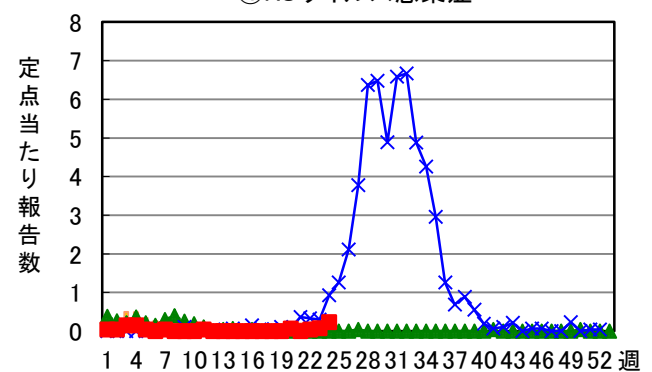
②突発性発しん



③咽頭結膜熱(プール熱)



④RSウイルス感染症



---▲--- さいたま市 2020年      —×— さいたま市 2021年      —■— さいたま市 2022年      ■ 全国 2022年

### ☆RSウイルス感染症にご注意ください。

RSウイルス感染症は、昨年は6月から8月にかけて流行しました。主な感染経路は飛沫感染と接触感染です。こまめな手洗い、咳エチケットを心がけ、感染に気をつけましょう。

詳細は、市感染症情報センターホームページ「[RSウイルス感染症](#)」をご覧ください。

## 全数把握対象疾患届出数(2022年)

類型	疾患名	2022年 第24週 受理分	2022年 累計 ※1	2021年 累計 ※1,2	疾患名	2022年 第24週 受理分	2022年 累計 ※1	2021年 累計 ※1,2
一類	エボラ出血熱	0	0	0	ペスト	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	マールブルグ病	0	0	0
	痘そう	0	0	0	ラッサ熱	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0				
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	0
	結核 ※3				鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	0				
三類	コレラ	0	0	0	腸チフス	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	パラチフス	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	0	2	21				
四類	E型肝炎	0	2	6	東部ウマ脳炎	0	0	0
	ウエストナイル熱	0	0	0	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0	0
	A型肝炎	0	0	1	ニパウイルス感染症	0	0	0
	エキノкокクス症	0	0	0	日本紅斑熱	0	0	0
	黄熱	0	0	0	日本脳炎	0	0	0
	オウム病	0	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	Bウイルス病	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	鼻疽	0	0	0
	キャサヌル森林病	0	0	0	ブルセラ症	0	0	0
	Q熱	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	発しんチフス	0	0	0
	サル痘	0	0	0	ポツリヌス症	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	マラリア	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	野兔病	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	ライム病	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	リッサウイルス感染症	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	リフトバレー熱	0	0	0
	炭疽	0	0	0	類鼻疽	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	レジオネラ症	0	7	14
つつが虫病	0	0	0	レプトスピラ症	0	0	0	
デング熱	0	0	0	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	
五類	アメーバ赤痢	0	1	5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	7	20
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	2	2	水痘(入院例に限る)	0	2	2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	2	13	先天性風しん症候群	0	0	0
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	0	0	0	梅毒	2	87	96
	急性脳炎	0	8	14	播種性クリプトコックス症	0	0	4
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	破傷風	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	4	10	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	4	8	百日咳	0	0	5
	ジアルジア症	0	0	0	風しん	0	0	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	麻しん	0	0	0
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0
	新型コロナウイルス等感染症	新型コロナウイルス感染症 ※4						
指定感染症	該当する疾患はありません							

2022年6月21日 15:00集計

※1 累計は診断日で集計しています。

※2 2021年累計は速報値となっています。

※3 結核は月ごとに、「さいたま市感染症発生動向調査(結核月報)」(<https://www.city.saitama.jp/002/001/008/001/006/p007261.html>)に掲載します。

※4 発生状況については、さいたま市ホームページ(<https://www.city.saitama.jp/002/001/008/006/013/001/p079716.html>)に掲載しています。

感染症発生動向調査 週情報（患者報告数、定点当たり報告数、年齢階級）

（2022年第24週 令和4年6月13日～6月19日）

	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	
インフルエンザ #1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20歳-							
RSウイルス感染症	6	0.23	2	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
咽頭結膜熱	7	0.27	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	0.04	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
感染性胃腸炎	229	8.81	1	15	38	29	35	27	23	12	11	7	7	18	2	4							
水痘	6	0.23	-	1	-	1	-	-	-	1	1	-	-	2	-	-							
手足口病	4	0.15	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
伝染性紅斑	1	0.04	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
突発性発しん	14	0.54	-	5	7	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	4	0.15	-	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-							
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-		
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	報告数	定点当たり	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザによる入院患者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					

（ - : 0 ）

#1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

#2 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く

#3 オウム病を除く

流行状況…  : 警報レベル、  : 注意報レベル

6月 21日 13:00 集計

■ グラフ総覧(2022年第24週)

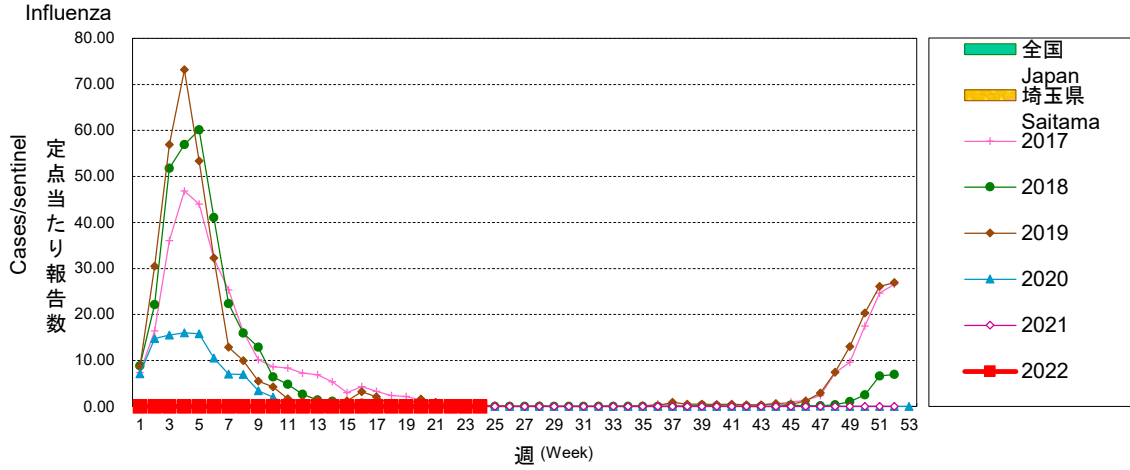
Disease trend graph (24th week, 2022)

さいたま市 定点当たり報告数グラフ

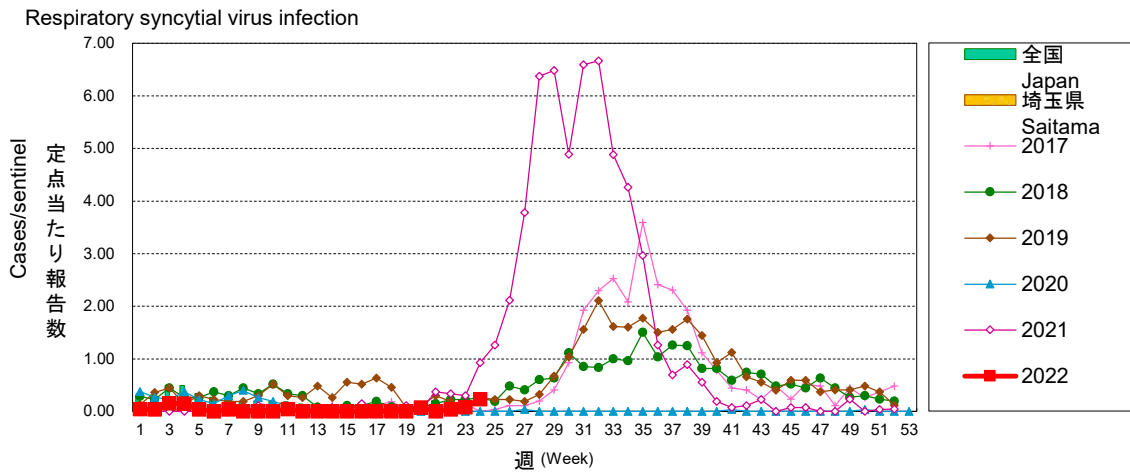
Disease Trend Graph (weekly reported cases per sentinel in comparison),Saitama City

※ 定点当たり報告数グラフの「全国」と「埼玉県」については、当該週の前週までを掲載しています。

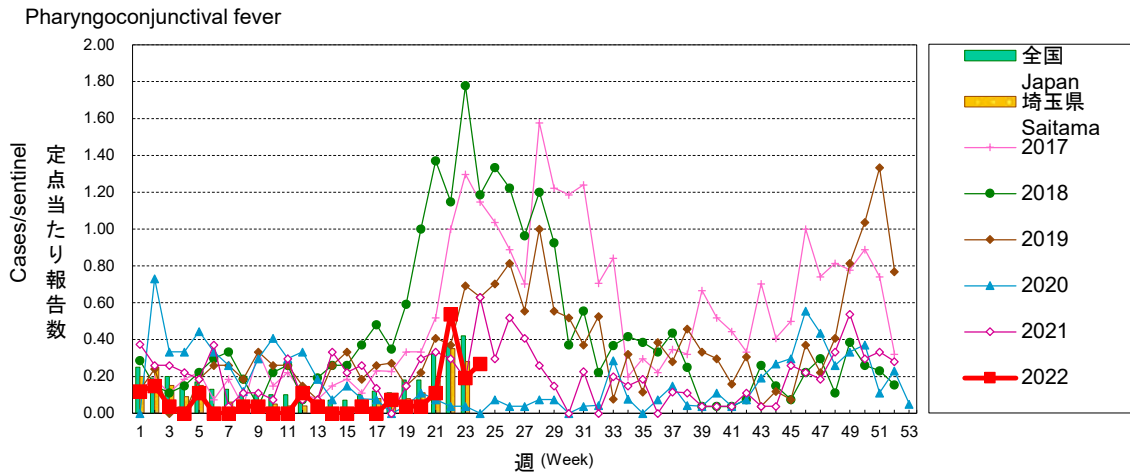
インフルエンザ



RSウイルス感染症



咽頭結膜熱

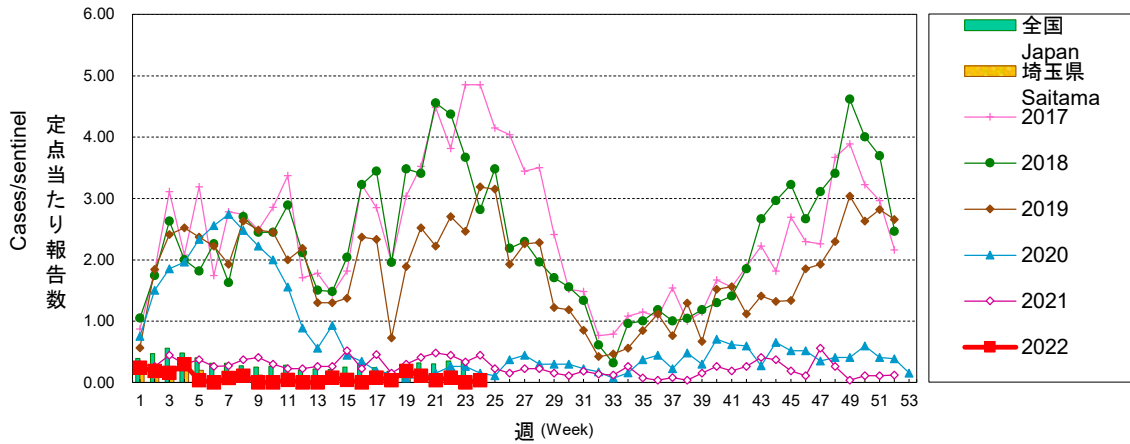


さいたま市 定点当たり報告数グラフ

Disease Trend Graph (weekly reported cases per sentinel in comparison),Saitama City

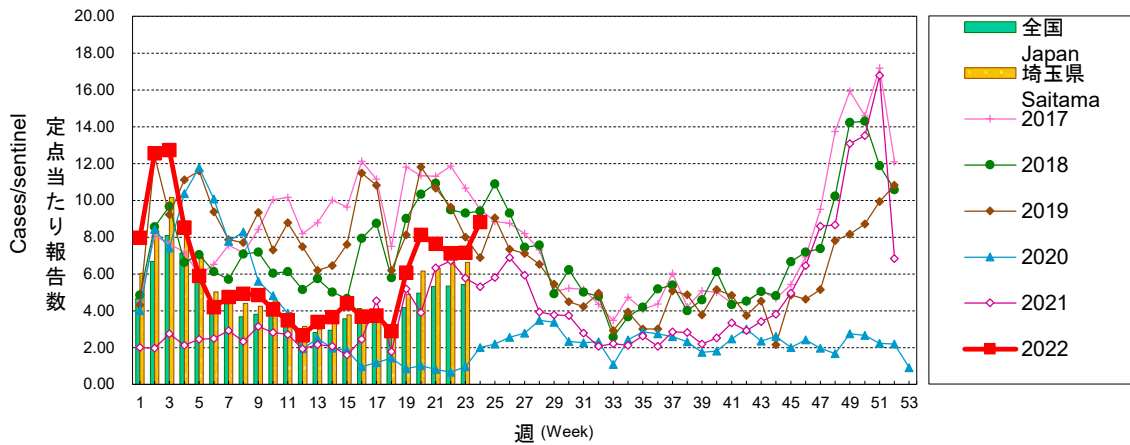
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

Group A streptococcal pharyngitis



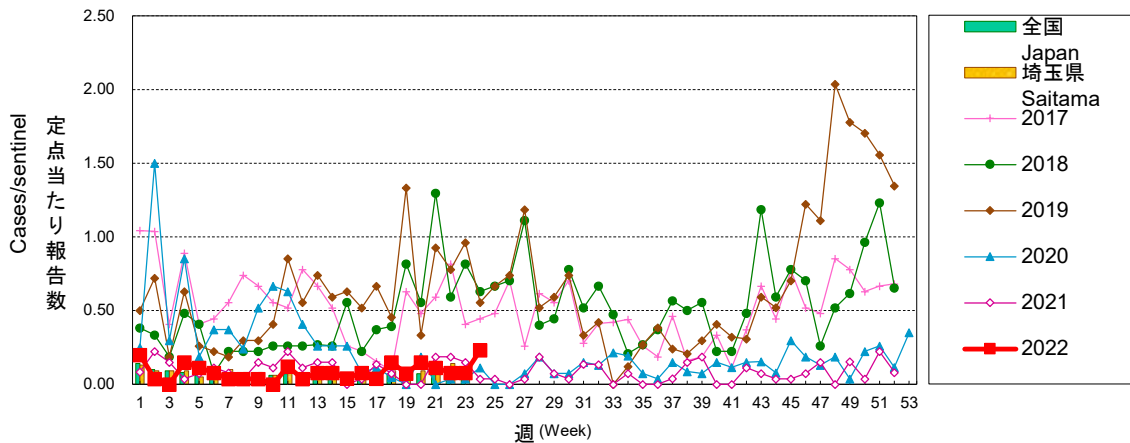
### 感染性胃腸炎

Infectious gastroenteritis



### 水痘

Chickenpox

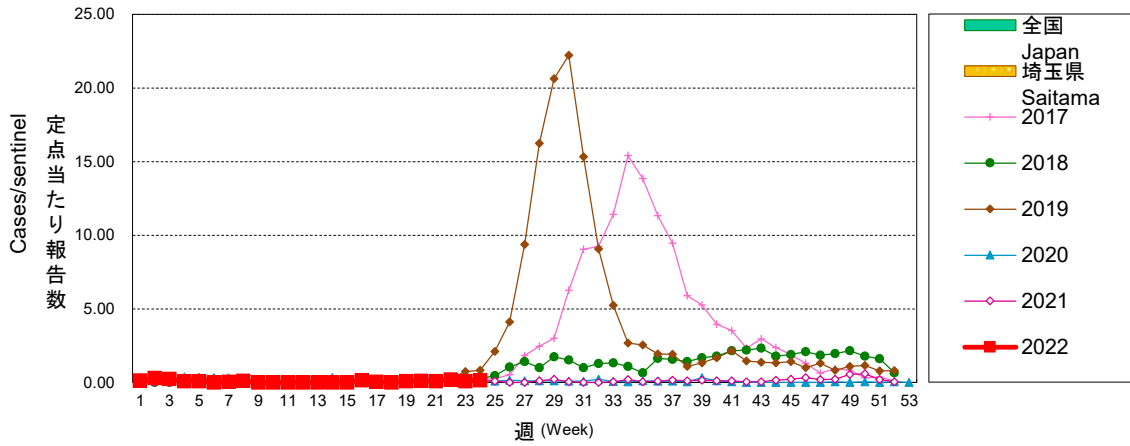


さいたま市 定点当たり報告数グラフ

Disease Trend Graph (weekly reported cases per sentinel in comparison),Saitama City

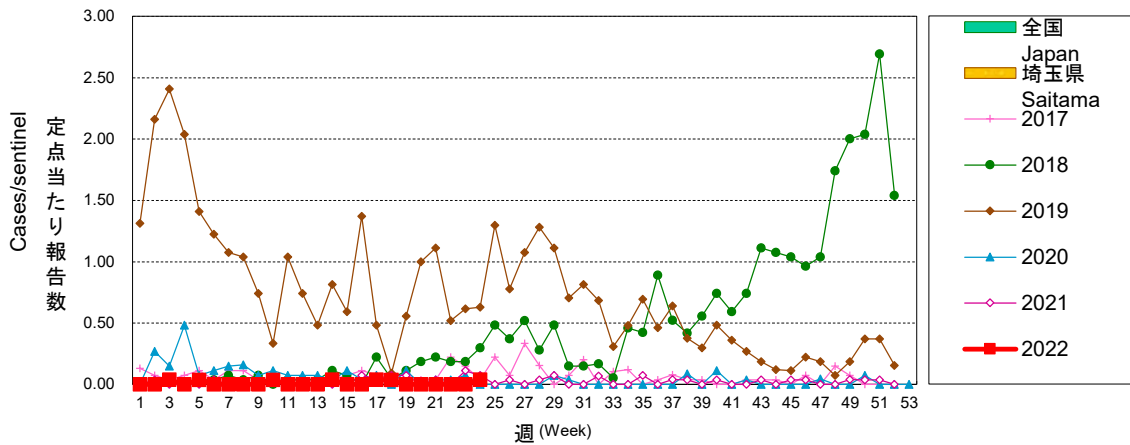
手足口病

Hand, foot and mouth disease



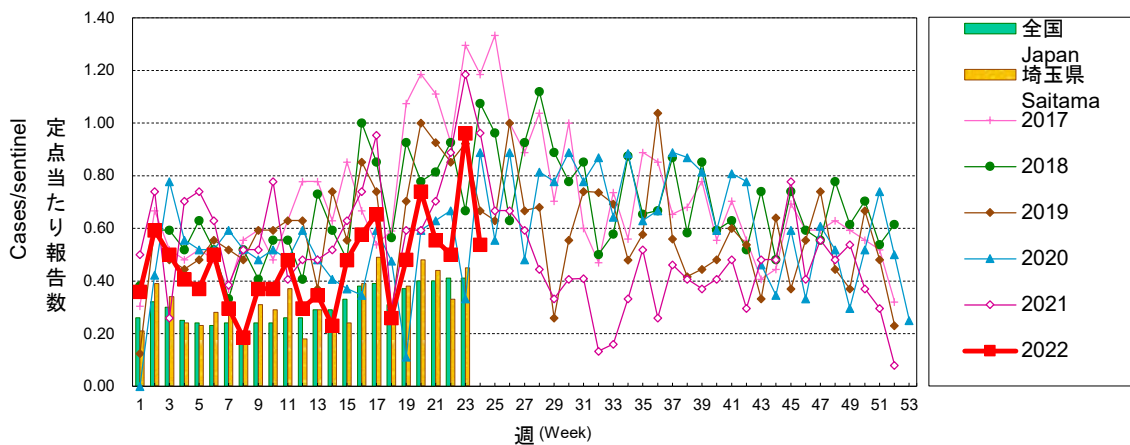
伝染性紅斑

Erythema infection



突発性発しん

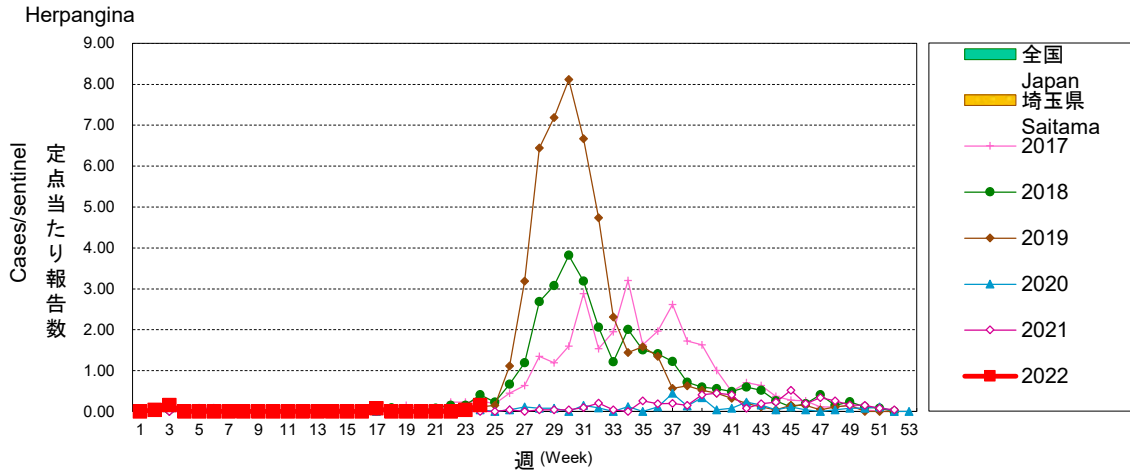
Exanthem subitum



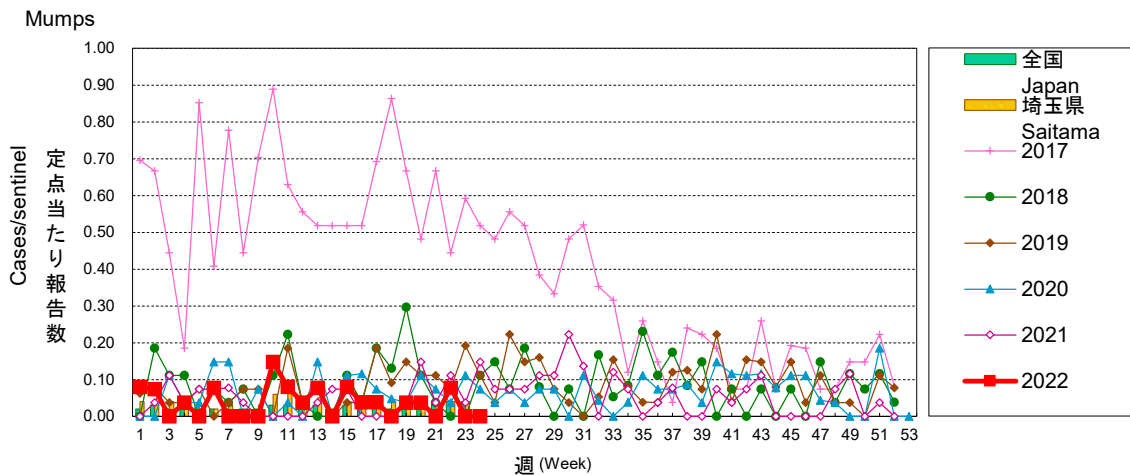
さいたま市 定点当たり報告数グラフ

Disease Trend Graph (weekly reported cases per sentinel in comparison),Saitama City

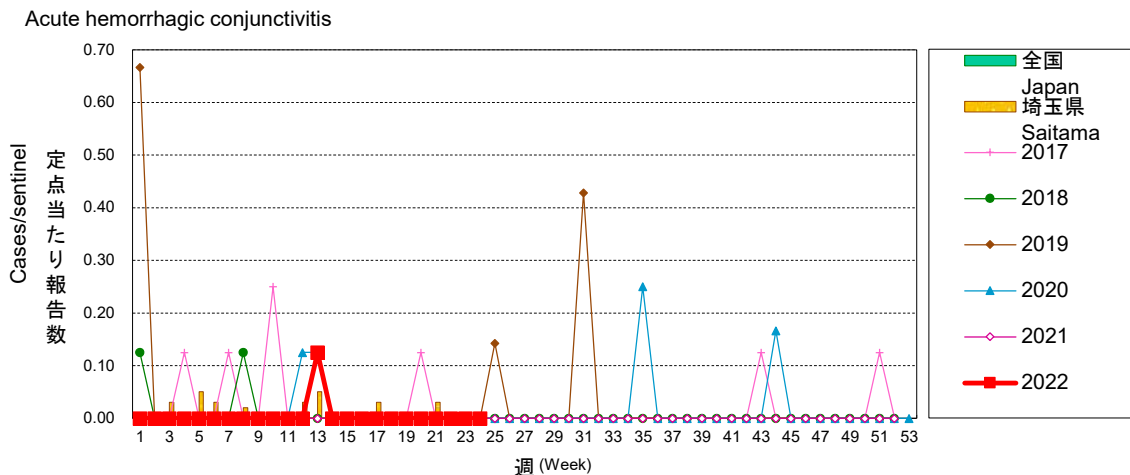
ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

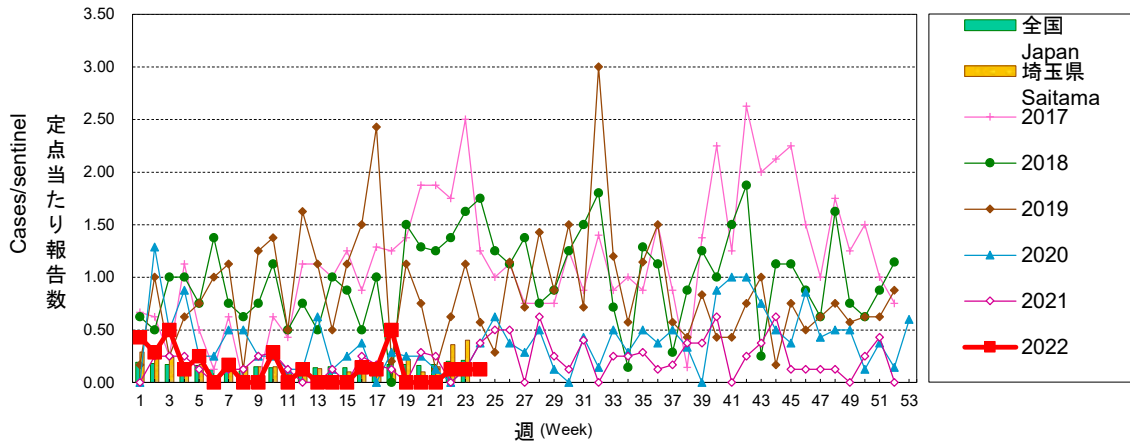


さいたま市 定点当たり報告数グラフ

Disease Trend Graph (weekly reported cases per sentinel in comparison),Saitama City

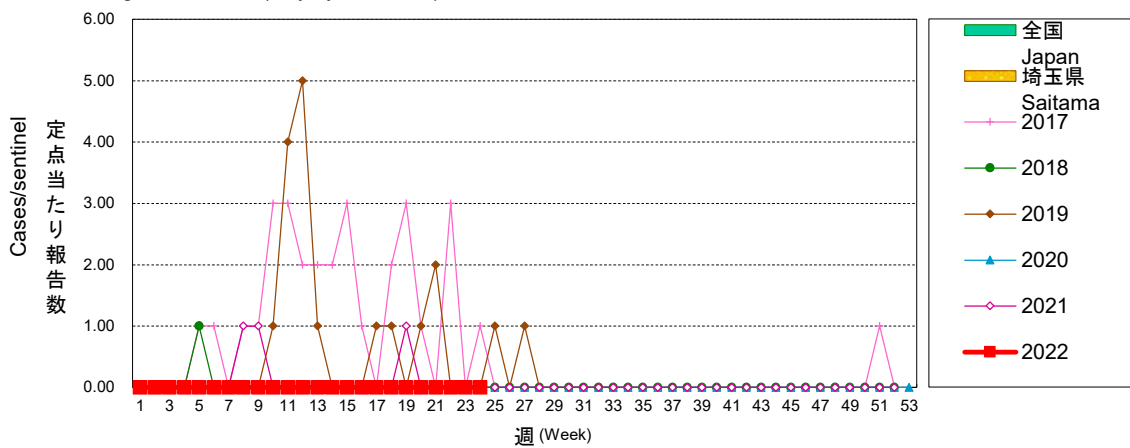
流行性角結膜炎

Epidemic keratoconjunctivitis



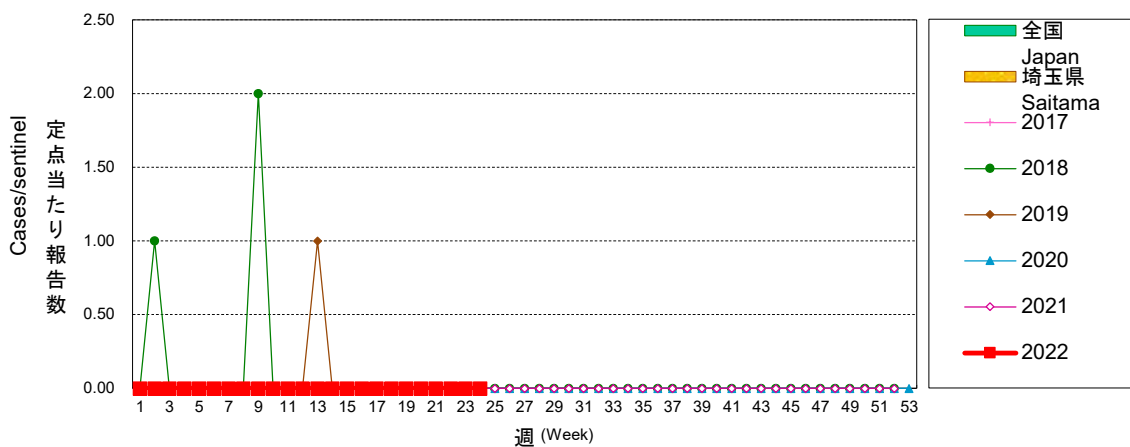
感染性胃腸炎(ロタウイルス)

Infectious gastroenteritis (only by Rotavirus)



クラミジア肺炎

Chlamydial pneumonia

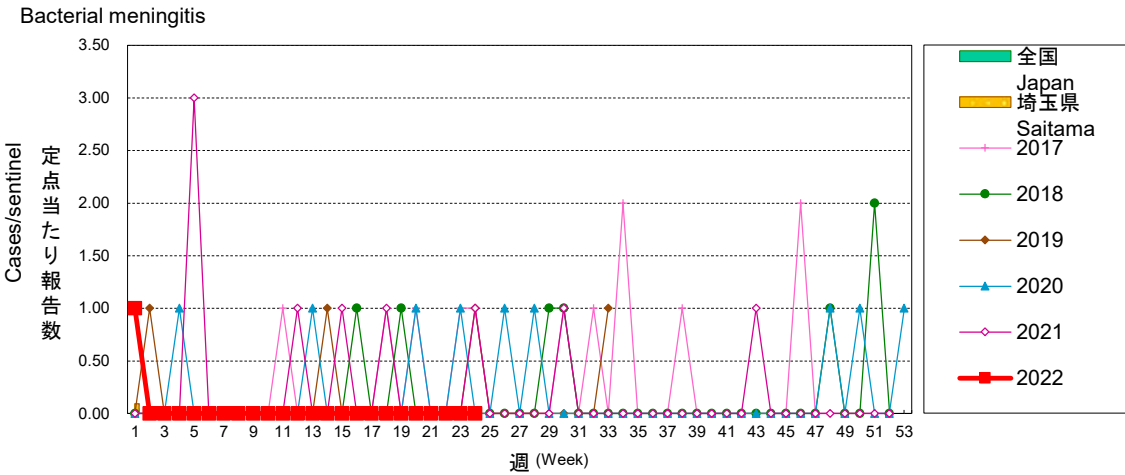




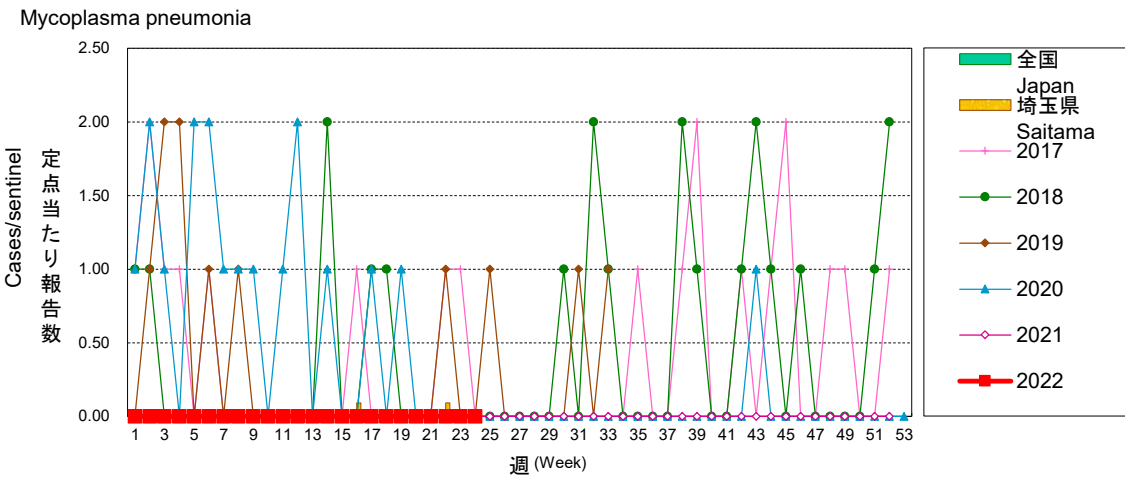
さいたま市 定点当たり報告数グラフ

Disease Trend Graph (weekly reported cases per sentinel in comparison),Saitama City

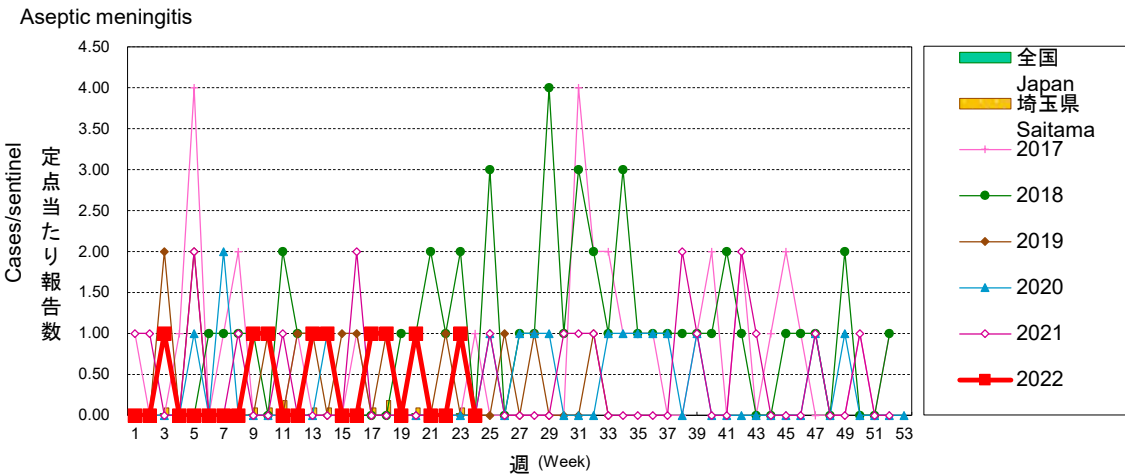
細菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



無菌性髄膜炎



梅毒の発生動向について(2022年1月1日～6月12日:2022年6月16日現在)

さいたま市感染症情報センター

2022年第23週現在で、梅毒は86例(男性60例、女性26例)の報告があり、これはさいたま市でサーベイランスを開始して以来過去最高だった2021年(年間累計96例)を上回るペースです。男性では30歳代、女性では20歳代で最も多く報告があります。全国的にも同じくサーベイランス開始以来過去最高の報告数だった2021年を上回っています。

感染経路について、性的接触が74例、不明が12例でした。性的接触74例のうち、同性間7例(すべて男性)、異性間55例(男性31例、女性24例)、不明12例(男性10例、女性2例)でした。

梅毒は、妊娠期の女性が感染すると胎児に伝播し、先天梅毒となる危険があるため、特に注意が必要となります。

梅毒は性的接触により感染する感染症であり、HIV感染症や性器クラミジア感染症等の他の性感染症の動向についても注意しましょう。

